

とよつだより

第 2 4 号
平成23年11月1日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

今年のスローガン
は、君和田莉央さ
ん（豊津小2年）
の作品です

運動会 笑顔でつなぐ 豊津の絆

地域の絆、深まりました



絶対の天候に恵まれた十月八日、『第六回とよつふれあい運動会』が開かれました。
今年はプログラム構成を変え、小学生の種目を午前中に集め、午後は児童達も地域の一員として各種目に参加するスタイルになりました。新しい種目も加わり、参加する人も、応援する人も、終始、和やかそして賑やかに進められました。しかし、「区対抗種目」になるとそれぞれの勝負魂に火がつくのか、白熱した戦いが随所に見られました。結果は、区対抗の四種目中、リレーを含めた三種目で一位になった爪木Aチームが見事、優勝を飾りました。
未就学児から高齢者まで、共に笑い、語り、汗を流し、そして協力し合うこの『ふれあい運動会』、無事、終わることができました。参加された皆さん、豊津小の先生方を始めとした実行委員の皆さん、お疲れ様でした。
来年も楽しい運動会にしましょうね。



第6回 ふれあい運動会



今年もやりました！

北浦一周サイクリング

東日本大震災の影響で延期していた「北浦一周サイクリング」を、九月十日に行ないました。

今年は地震のために北浦西岸（行方側）が通れないため、北浦一周は出来ず、豊津小学校から白浜少年自然の家までの往復コースとなりました。

九月の開催ということでまだ残暑が厳しく、大変暑い中でのサイクリングとなつてしまい、参加した児童、保護者達も大分疲れたようです。しかし、心配していた熱中症もなく、全員無事に完走できました。

その中でも六年間完走し続けた児童が五人おり、閉会式では表彰を受け、大変誇らしげでした。

（六年間完走者）

青野加奈・郡司遥佳・藤城奈々
藤枝健太郎・大川歩美（敬称略）

豊津地区敬老会が開かれました

まだまだ残暑の残る9月18日、「平成23年度豊津地区敬老会」が、138名と多くの方の参加のもと今年も新仲家を会場に開かれました。

今年度の豊津地区の対象者（昭和16年4月以前生まれの方）は306名で、米寿（88才）は5名、喜寿（77才）が20名、新敬老者（71才）は27名いらっしゃいました。

第1部では、記念品贈呈や来賓からのお祝いの言葉、敬老者代表の挨拶などがあり、第2部では、豊津小児童による作文発表や歌の披露、地域の方の踊り、敬老者の自慢の喉の披露などが賑やかに行われました。

また、鹿嶋警察署管内は交通事故が多いことから、鹿嶋警察署交通課長から交通安全に関する話がありました。豊津地区の高齢者の皆さんはお元気で、活動的な方が多いので、くれぐれも交通事故に遭わないようお気をつけください。



▲参加された新敬老者の皆さん

○ぼくは、移動教室に参加して来ました。東京消防庁では、暴風雨の体験をしてとばされそうになり、とてもこわかったです。あと、東京タワーにエレベーターでのぼりました。東京タワーは高かったからちよつとこわかったです。こんどはスカイツリーに行きたいです。（二年 大川侑也さん）

○防災館では、大地震の映画を観たり、暴風雨体験をしたり、消火器の使い方を学んだり、地震の体験をしました。今回やった体験は、ふだんの生活ではやらないような感じがしました。けど、もし火事になったり、津波そして台風、地震がおこってしまった時は、今回の体験を生かしたいと思いました。そして改めて津波や水害などのおそろしさを学びました。（五年 君和田睦さん）

八月四日、東京消防庁での防災体験と東京タワー見学を目的とした移動教室に行ってきました。学校での避難訓練等とちよつと違う貴重な体験をしたキッズたち、この体験を忘れずにしてほしいですね。

参加者の感想



とよつキッズ移動教室 （二十八人参加）

ゴミ分別教室

豊津地区ではゴミ分別がされてなくて引き取ってくれないゴミ袋が散見されていることから、まちづくり委員会において話題となり、地域環境部と文化福祉部が共催で市の環境課の職員に講師をお願いしてまちづくりセンターで講義をしていただくことになりました。8月7日（日）豊津クリーンを125名の参加で綺麗にした後、子どもたち12名を含め総勢48名の参加を得て、何故分別が必要かの目的について理解を深めました。ゴミ処理センターではRDFという設備で固形燃料を再生している関係上、可燃物の中に対象外の物が混じっていると処理する刃が破損するなど大きな問題が発生するので分別をしっかりとしないと回収出来ない。協力をお願いしますとの事でした。説明の後、意見交換も活発に行われました。分別の大切さを再認識しました。



東京ウォーキングと赤坂界隈

（四十四人参加）

九月二十五日、毎回参加者から好評を得ている「東京ウォーキング」を実施しました。今回は、江戸時代に紀州徳川家の中屋敷だった東宮御所の周辺と赤坂界隈を巡る約7キロのコースです。当日は、気持ちの良い天気でした。迎賓館前からは絶好の日和で、ウォーキングには絶好の日和でした。迎賓館前から出発し、左手に御所の石垣を見ながら、青山一丁目の交差点を左折。TBS放送センターまで歩き、センター前広場（赤坂サカス）で昼食をとりました。午後の出発まではそれぞれに自由時間を楽しみ、中には日枝神社まで足を伸ばされた方もいたようです。午後は、豊川稲荷を参拝し、出発地点の迎賓館前に戻りました。それぞれに日々の運動不足を感じながらも、気持ちの良い汗をかいいた一日でした。参加された皆さん、お疲れ様でした。



▲素晴らしい迎賓館の門の前で記念撮影

◆主事のつぶやき◆
一年という時間は早いもので、去年の今頃は、何をしていたか考えると、あれもこれもついこの間のことのように見える。子どもたちもそれぞれ巣立ち、少し寂しいような、うれしいような…。さて、来年の今頃は、いったいどんなことを思い出しているのかな。そのために公私ともに一日一日を充実させよう！

幕末から明治初年にかけて、水戸学のお膝元である常陸国には、尊皇攘夷・廃仏毀釈の嵐が吹き荒れました。「天狗党の乱」は、元治元（一八六四）年に筑波山で挙兵した水戸藩内外の尊皇攘夷派（天狗党）によつて起こされた一連の争乱です。天狗党の末路は、維新史において会津戦争と並ぶ悲劇とされています。

天狗党の墓は、大船津の大じょう辺田の東側中腹にあります。天狗党の一隊約八〇人がこの地から延方方面に逃げる際、付近で幕府の追討軍と交戦。この墓は、その時に捕虜になり処刑された二十三人のもので、明治維新後に建てられたものです。天狗党の墓は、市の指定史跡になっています。

天狗党のことは意外と知られていませんが、福井県や岐阜県などにもその爪痕が数多く残されており、茨城県の近代史に大きな傷跡を残しています。



ぬれぎぬを着せられて散る天狗党



とよつかるためぐり

シリーズ⑧